≪様式 2≫　（新スク実施機関　→　保護者）

おうちで行う

きこえとことばのチェックシート

赤ちゃんは 1 歳前でも、いろいろな音をきいたり声をだしたりして、お話するための準備をしています。これは、ことばや保護者との関係を育てる上でとても大切な時期です。生まれた時は問題なくても、進行性の難聴や中耳炎などによって、後になり耳のきこえが悪くなることもあります。そのため、お子さまのきこえに異常がないかどうかを注意し続けることがとても重要です。

チェックシートは、耳のきこえとことばの発達を主な月齢で書き出しています。できる項目に〇をつけて、各月齢で〇がついた項目が半分以下の時には、念のためかかりつけ医や地域の保健師に相談して下さい。

＜3 か月頃＞

（　　）　大きな音に驚く
（　　）　大きな音で目を覚ます
（　　）　音がする方を向く
（　　）　泣いている時に、声をかけると泣き止む
（　　）　あやすと笑う
（　　）　話しかけると「アー」「ウー」などと声を出す

＜6 か月頃＞

（　　）　音がする方を向く
（　　）　音が出るおもちゃを好む
（　　）　両親などよく知っている人の声を聞き分ける
（　　）　声を出して笑う
（　　）　「キャッキャッ」と声を出して喜ぶ
（　　）　人に向かって声を出す

＜9 か月頃＞

（　　）　名前を呼ぶと振り向く
（　　）　「イナイ　イナイ　バー」の遊びを喜ぶ
（　　）　「ダメッ！」「コラッ！」などと言うと、手を引っ込めたり、泣き出したりする
（　　）　おもちゃに向かって声を出す
（　　）　「マ」「ダ」「バ」などの音を出す
（　　）　「チャ」「ダダ」などの音を出す

＜12 ヵ月頃＞

（　　）　身振りなしに「ちょうだい」「ねんね」「いらっしゃい」などのことばを理解する
（　　）　身振りなしに「バイバイ」のことばに反応する
（　　）　大人のことばをまねようとする
（　　）　意味のあることばではないが、さかんにおしゃべりする
（　　）　意味のあることばを 1 つか 2 つか言える
（例；食べ物のことを「マンマ」、お母さんを「ママ」など）
（　　）　単語の一部をまねして言う

＜1 歳 6 か月頃＞

（　　）　絵本を読んでもらいたがる
（　　）　絵本を見て知っているものをたずねると指さす
（　　）　簡単な言いつけが分かる
（例；「このゴミを捨てて」「その本を取って」など）
（　　）　意味があることばを 1 つか 2 つ言える
（　　）　意味があることばを 3 つ以上言える
（　　）　絵本を見て、知っているものをたずねると名前を言う

◎ このチェックシートは、母子手帳と一緒に保管しましょう

【 琉球大学病院　きこえの支援センター 】
TEL / FAX：098-894-1559
URL　：https://kikoe.skr.u-ryukyu.ac.jp